

地域別 市政フォーラムの結果を報告します

その3 出雲地域

鳥巣地区市政フォーラム



▲出雲地域での参加者数は1,091人。126人が発言し、市政への提言や課題について意見交換が行われました(写真は鳥巣地区市政フォーラム 11月5日)



住民の皆さんの意見を今後のまちづくりに生かすために、7月から11月にかけて市内37会場で『地域別市政フォーラム』を開催しました。
今回は、10・11月に開催した出雲地域16会場で出された意見・提案の一部を紹介します。

Q 年々増大する公債費が財政の硬直化をもたらす、今後、市の施策に支障が生ずることが懸念される。市の財政状況は？

A 歳入面では、市税収入及び交付税という基幹一般財源が伸び悩む中、歳出面では、公債費の増加に加え、産業振興・少子化対策・教育・福祉といった行政課題に向けられる歳出予算が膨らんでいます。特に平成16年度から始まった三位一体改革による地方交付税の削減は、市の財政運営を厳しいものになっています。

こうした中、市では、人件費の削減はもとより、行財政改革に基づく徹底した経費の見直しを行い、計画的な予算運営を行うため、中期財政計画を策定しているところですが(関連記事は5・6ページをご覧ください)。
また、平成20年度は庁舎建設などが予定されていますが、整備にあたっては、建設コスト、財源、維持管理費の抑制など十分検討し、財政的な影響ができるだけ少なくなるよう工夫していきます。
厳しい財政状況ではありますが、市民の皆さまのご理解とご

Q 新内藤川の整備について

A 新内藤川は、県の床上浸水対策特別緊急事業で進められており、平成20年度で事業が完了すると聞いています。引き続き、広域基幹河川事業として要望してまいります。
出雲ドーム南の親水公園の整備については、地元、県、市とで検討した上で、区画整理区域までの新内藤川の暫定改修事業が完了した後、整備する考えです。



▶新内藤川床上浸水対策 特別緊急事業

Q 防犯灯の設置と青色防犯灯の効果について

A 通学路の防犯灯は、小・中学校長からの申請に基づき市が設置しており、町内会から要望のあった防犯灯へは、市がその設置費の一部を補助しています。
最近、各町内会などにおいて、防犯効果が高いとして、青色防犯灯の設置が進められています。青色の犯罪抑止効果は、科学的には十分解明されていませんが、防犯のシンボルとして住民の意識向上につながっているという声もあります。しかし、白色灯に比べて暗く、防犯灯には街灯としての役割もあることから、青色防犯灯の設置については、居住環境や道路・水路・交差点の状況などを勘案して町内会で検討していただきたいと考えています。

Q 中学校への進学時に他校生徒となじめないのではないかという不安がある

A 各小中学校においては、地域学校運営管理委員会をはじめ、地域の多くの方の支援・協力のもと、地域・学校・家庭が一つになった教育活動が行われてい



▲南中学校の校区で小学生と中学生の交流が深められました

ます。
また、市では「小中一貫教育」を推進しており、中学校区内の他の小学校との合同修学旅行や合同学習、また、小中学校児童生徒の交流活動など、地域の実情に応じた積極的な取り組みが行われています。これらの取り組みは、近年、その重要性が指摘されている、「自分に自信をもって生きていく力」や「ふるさとに誇りを持って生きていく力」を育むものであり、これにより、進学時に不安を感じることもあっても、それを乗り越える力は十分に育つと考えます。

今後も、このような取り組みを通して、子ども同士がよりよい人間関係を構築し、不安なく進学できるように努めてまいります。

Q 町内会(自治会)への加入促進について

A 町内会加入率は年々減少しています。そのほとんどがアパートやマンションなどの世帯であることが分かっています。市では、市民課や建築確認の窓口でパンフレットを配付するほか、10月には、状況に応じた取り組み方法などをまとめた「町内会(自治会)加入促進マニュアル」を自治協会などに配付し、町内会への加入促進に努めています。(詳しくは2月14日発行の広報いずも第70号でお知らせします)

Q ポイ捨てごみや落書き対策は

A 市では、平成19年3月に「出雲市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政の行動指針を定めました。市職員が率先して行動することが大事であり、その一つとして、月1回市庁舎周辺のごみ拾いを行っています。また、市民ボランティアによる「落書き消し隊」を結成し、出雲市駅周辺の落書き消しも行いました。消す姿を見せることが大切なので、引き続き実施していきます。

今後も、環境美化推進に対す

る啓発活動に努め、ポイ捨てや落書きのない出雲市を目指します。



▶落書き消しのボランティアとして結成された「落書き消し隊」。高校生の参加もあり、一生懸命消していました(出雲市駅高架下)

Q 平成温泉付近に工業団地ができる

A 山陰自動車道出雲インターチェンジ(仮称)の近接地である平成温泉北側の丘陵地で、新ビジネスパークの整備を検討しています。
今年度は、基礎調査を実施し、造成計画などの基本項目について方針を定める予定です。

今年度の市政フォーラムは、市内37か所で開催し、全体で約2,800人が参加。意見交換では、268人の皆さんから貴重な意見をいただきました。
今後も住民が主役のまちづくりを目指し、「対話と交流」による市政を進めていきます。

市政フォーラムのほかにも、日ごろから市政に対する提案を募集しています。気軽に手紙、ファクス、電子メール、市ホームページの「ご意見・ご要望」などでお寄せください。

===== 市政に対する提案は広報情報課へ =====

- TEL 21-8578 ・ FAX 21-6509
- メール kouhou@city.izumo.shimane.jp
- 出雲市ホームページ <http://www.city.izumo.shimane.jp>